

令和5年度 津山市立図書館協議会 会議録

日時：令和5年8月25日（金）
午前10時30分～11時30分
会場：津山市立図書館集会室

出席委員 佐藤委員長 長谷川副委員長 内田委員 竹内委員 田村委員 尾島委員
甲田委員 頼経委員 御藤委員 八木委員 山本委員 小谷委員
欠席委員 赤坂委員 山本委員
事務局 明楽部長 尾崎課長 菊入館長 平尾副館長 大林副館長

1. 開会

2. 部長挨拶

図書館は生涯学習の理念の元、市民の皆様のさまざまな学習活動に応える地域の情報学習拠点としての役割を果たすため、引き続き人づくり地域づくりに推進してまいります。協議会を通じて、本館・各地区館・自動車文庫の運営を含めた忌憚のないご意見をいただけたらと考えております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

3. 委嘱状交付（省略）

4. 自己紹介（省略）

5. 議事

（1）視聴覚ライブラリー担当委員の選出について

御藤委員、八木委員、小谷委員を選出

（2）令和4年度津山市立図書館及び視聴覚ライブラリーの利用状況

事務局 令和4年度は、344日の開館日数。前年は283日。開館日の増加と比例して入館者も増加した。登録者数、蔵書冊数、貸出冊数も微増となっており、コロナ以前と比べ、8割程度の利用状況になってきた。資料費は令和3年度から増額しており、以降同じ予算額となっている。利用状況で特に増加傾向が著しいのはイベントの開催についてである。開催回数が昨年度比175.4%、参加人数が昨年度比164.7%となっている。自動車文庫もコロナのための運休が減少し稼働日が増加したことから利用も比例して増加している。詳細は図書館概要に記載している。

委員 雑誌の蔵書冊数が減少している理由は何か。

事務局 購入していた雑誌が廃刊になったり、休刊になったりした影響がある。

委員 視聴覚ライブラリーは販売されている映像を購入し貸出しているが、視聴覚資料という点で配信についても考えられないか。映像データを集め、図書館資料として映像や音声を残し、配信することができないか。写真は図書館がネット公開しているフリッカーがあるが、映像を残すライブラリーとしての機能も考えられないか。

事務局 視聴覚ライブラリーは社会教育団体に貸し出す事を目的として設置されており

難しい。資料の収集保存提供という観点からすると図書館でということになる。他の図書館では本や写真のデータや映像等収集している等の例もあり、岡山県立図書館では、動画の収集等をされているようだ。

委員 市内でいろいろな文化施設がばらばらに提供するのではなく図書館がとりまとめて配信の方が利用者の利便性が高いと思う。実現してほしいという思いがある。

事務局 すでに行っている岡山県立図書館と協力するなど方法も含めて考えたい。

委員 児童書も増加しているが、どのような資料を選んでいるか、参加者が多かったこどもの読書週間の行事内容について知りたい。

事務局 児童書について、例えば配本用の図書に力を入れている。希望される小学校全クラスに本を届けており、人気のある本やロングセラーの本、調べるための本等の購入ができています。予算に応じて幅広い分野の本をたくさんそろえる事ができる。行事については、本のお楽しみ袋やぬりえの配付を行ったことが来館に繋がった。

委員 ぬりえは小学校の図書の企画で行ったときも好評だったと聞いている。市立図書館のイベントは学校でも参考になると思う。

(3) 令和5年度津山市立図書館主要事業について

事務局 令和5年度の課題

- ・ 図書館利用の活性化
- ・ 図書館サービスの連携と協働の拡大
- ・ 第5次津山市子ども読書活動推進計画の策定と調べる学習コンクールの実施
- ・ 地域課題の解決にむけた図書館サービスの充実
- ・ 定住自立圏図書館事業の推進
- ・ 図書館整備改修事業の実施

重点的に取り組むことと、具体的な内容について

①幅広い知識・情報の提供

図書館資料の充実

②学校図書館との連携と支援

調べる学習コンクールの実施

③子どもの読書と子育て支援の推進

第5次津山市子ども読書活動推進計画の策定

④地域支援サービスの充実

各種連携講演会の開催 3館連携15周年記念行事

サテライト貸出システム「カリコレ」の活用

⑤津山圏域定住自立圏図書館事業の推進

津山圏域の1市5町各図書館で相互利用推進と合同研修会の実施

⑥図書館利用環境の充実

美作材を用いた改修事業

本館メインフロアの改修事業

本館照明のLED改修工事 (曝書期間中を予定)

委員 各イベントが行われたことにより参加者が増加しているので、伸びる要素としてイベントの開催があるのだと感じた。

(4) 図書館の運営について

- 委員 子どもの本を持ち寄って、交換会のようなイベントはできないか。
- 事務局 他の図書館で行っているところもある。検討してみる。
- 委員 乳幼児には地域ボランティアの方にもよみきかせをお願いしている。どうやったら本に親しんでもらえるかが課題だ。
- 事務局 第5次読書計画を策定する中で乳幼児についても計画を策定中である。
- 委員 朝の読書時間を設けている小学校の事例はよく聞くが、中学校での朝読の状況が知りたい。
- 委員 学校によると思う。ボランティアが中学2年生までを対象にして朝10分以内で読み聞かせをしている学校がある。
- 委員 テスト期間等行わない期間もあるが、図書委員が大型絵本等の読み聞かせをする学校がある。
- 事務局 図書館が協力できることがあれば協力したい。
- 委員 今の子は絵から本を選ぶ傾向がある。挿絵から内容を想像しやすいようだ。学校には拡大する機器がそろっているので利用できる環境にある。
- 委員 本によって拡大が良いもの、実物が良いものそれぞれある。
- 委員 機器の扱いを子どもたちが手伝ってくれる関係ができていて良い。学校や図書館等いろいろ協力できていることも良い。
- 委員 学校図書室では子どもたちにいろいろな経験をさせてあげたい。
- 委員長 たくさんのご意見ありがとうございます。

(5) その他

- 事務局 津山市立図書館が「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2022」において、優秀賞とオーディエンス賞を受賞した。受賞理由は公立、国立、私立をつなぐ三館連携の取り組みの持続を評価されたもの。最終選考会が昨年11月30日に行われた。今年15周年をむかえパネル展などを開催する。
- 会長 三館連携だけでなく、入院時に手続きすることで病室に本が届くという中央病院との連携もある。
- 事務局 特別館内整理期間中に本館のLED工事をを行う予定。
床工事(未定)のため特別館内整理期間がのびる可能性がある。

6. その他 特になし

7. 閉会

- 副委員長 地道にサービスを続けてきた事がライブラリー・オブ・ザ・イヤー受賞に繋がった。図書館が利用者の役に立つような取り組みをして、市民の生活がより良い方向に変わることが期待している。